2017 愛顔つなぐえひめ国体
第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

TEAM FUKUOKA NEWS
「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズ 9月19日 会期前号 vol.3

第72回国民体育大会
本会期につなぐ熱戦！

初の正式種目！ ビーチバレー競技！

台風の影響で、２８点の１セットマッチにより開催されたビーチバレー予選リーグ。通常とは違うゲーム形式に、ゲームの組み立てなど、準備へのとまどいもあった。福岡県は、埼玉県・広島県に連勝し、幸先の良いスタートを切ることができた。予選リーグ最終戦では、福井県と対戦。相手の粘り強いディフェンスに、熊田選手の強打や小野田選手のコースを狙ったスパイクで応戦したものの、終盤、徐々に劣勢に傾き、１８－２８で敗退。予選リーグ２位での決勝トーナメント進出となった。

決勝トーナメントは、通常通り３セットマッチで実施された。準々決勝は、地元愛媛県との対戦。第１セットを取られるも、２セット目を取り返す一進一退の試合展開が続いた。３セット目も序盤リードを許し、愛媛県の大応援団によるえひめコールが響く中、福岡県は終盤に追いつき、見事逆転勝利を収めた。

関根監督は、「この勢いのまま、頂点まで上り詰める」と力強くコメント。続く準決勝の神奈川県戦では、健闘するも２－０で敗退、３位決定戦でも東京都にフルセットの末競り負け、４位入賞となった。しかし、国内のツアー参加者など強豪ひしめく中での４位は、賞賛に値する結果であり、福岡県に１５点をもたらした。

＜打点の高いサーブ＞

＜力強いスパイク＞

少年男子　高飛込　堂々4 位入賞！

＜賞状を手に笑顔の吉澤選手＞

少年男子　高飛込　吉澤選手（筑紫台高校）は序盤、高難度の演技を決め一時首位に立つなど、持てる力を全て発揮し、２年連続３回目の入賞となる４位の成績を残した。竹川監督は、「表彰台も狙っていたので・・・」と少し残念そうではあったが、インターハイから順位を一つあげ自己最高の４位入賞は、観る人々に感動を与えるとともに、福岡県選手団としても喜ばしく、これまで支えてこられた全ての人々に感謝を伝えるのに、十分の成果であった。

【少年男子飛込競技競技結果】
・高飛込　　吉澤有馬選手　４位
・飛板飛込　吉澤有馬選手　１０位

競泳競技　１０種目入賞!

台風１８号の影響で２日間に短縮された今大会、時折強く雨が降り、水温２５度の屋外特設プールという条件の中、福岡県選手団は奮闘した。

リオ五輪銀メダリストの坂井聖人選手は、インカレで痛めた左足の故障をおしての出場。１００m背泳ぎで５位入賞を果たした。今後、良いコンディションでの冬季の追い込みトレーニングに移れるよう、故障の早期回復を祈る。

高校総体２００m個人メドレーで３位に入った石原愛依選手（柳川高校１年）は、柳川 SS の先輩である坂井聖人選手を目標として努力を続けてきた。今回は、少年Ｂの同種目において見事２位入賞。伸び盛りの石原選手に今後の活躍が期待できる。

古賀啓士女子監督（競技力向上委員長）は、「東京・神奈川・愛知などの強豪県に比べると、やや勝負への執着心が足りなかったようだ。特に、少年種別選手の『勝ちへの執念』をもっと導く必要がある。」と熱く語った。また、得点が昨年度より減少したが、「少年Ｂ世代は、惜しくも決勝進出を逃した選手を含めて、あと少しで上位に食い込めるところまできている。次年度につながる明るい材料だ。」と述べた。

会期前競技終了時点で、福岡県は２１７点を獲得し、１６位につけている。台風の影響による日程変更などによって、選手たちは、コンディション調整に苦しむ場面も多く、昨年度の２２５点・１１位を上回ることができなかった。しかし、力強いプレーや上位入賞を果たした選手たちの活躍は、福岡県の目標とする「８位以内入賞」を目指すチーム福岡の活躍であり、本会期の競技での奮起を促すものであった。

＜坂井聖人選手（左）と古賀監督＞

＜少年女子Ｂ100m背泳ぎの様子＞

＜リレーチームに声援を送る福岡県選手団＞

【競泳競技入賞者】

・成年男子	１００M背泳ぎ	坂井　聖人（早稲田大学）	５位
・少年男子Ａ	２００M平泳ぎ	平河　楓　（筑陽学園高等学校）	５位
・少年男子Ａ	２００M背泳ぎ	酒井　陽向（東福岡高等学校）	４位
・少年男子Ｂ	１００M自由形	中杉　勇斗（常盤高等学校）	６位
・成年女子	１００M平泳ぎ	鈴木　聡美（ミキハウス）	８位
・少年女子Ｂ	１００M背泳ぎ	井上　結貴（宗像高等学校）	６位
・少年女子Ｂ	２００Mメドレー	石原　愛依（柳川高等学校）	２位
・少年男子Ａ	４００Mメドレーリレー	（酒井・平河・榊・藤原）	８位
・少年男子Ｂ	４００Mメドレーリレー	（小鶴・藤田・鳥取・中杉）	８位
・少年女子Ｂ	４００Mメドレーリレー	（井上・石原・永渕、渡辺）	７位

国体の情報については、大会ホームページ（http://www.ehimekokutai2017.jp/）より、ご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター　スポーツ推進課　企画情報係